

頭字語から入るメディア情報に関連する
英単語学修資料作成（ノート）

河 瀬 雅 美
河 瀬 絢 子
牧 純

松 山 大 学
言語文化研究 第42巻第1号（抜刷）
2022年9月

Matsuyama University
Studies in Language and Literature
Vol. 42 No. 1 September 2022

研究ノート

頭字語から入るメディア情報に関連する 英単語学修資料作成（ノート）

河 瀬 雅 美*)
河 瀬 絢 子**)
牧 純***)

序 論

頭字語 (Acronym, アクロニム) とは、語群を構成する各語の先頭の文字や音節を表す文字をつづり合わせて造った語のことである。このように、連なったアルファベットを通常の単語と同じように発音して読むので、アルファベット略語 (以下、頭字語) と呼ばれることもある。

例えば、情報科学分野に関するものとして、AI (Artificial Intelligence, 人工知能) のエーアイ, IoT (Internet of Things, モノのインターネット) のアイオーツウや DX (Digital Transformation, デジタルトランスフォーメーション) のディーエックスなどが挙げられる。また、プログラミングの勉強をするのに入りやすい言語を意味したものとして、BASIC (Beginners All-purpose Symbolic Instruction Code, ベーシック) が挙げられる。ベーシックは語源の通り、極めてポイントを得た頭字語である。ペンクラブの PEN (Poet, Essayist and Novelist) のペンは、詩人、随筆家、小説家の集まりを集約した頭字語で、意味内容を象徴

*) 松山大学名誉教授
**) 武藤彩研究所代表
***) 元松山大学教授

して素晴らしい出来ばえのものである。PEN International (国際ペンクラブ) は有名である。一方、UNESCO (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization : 諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関。世界遺産で有名) のユネスコや NEET (Not in Employment, Education or Training : 就労や就学していない、職業訓練も受けていないことを意味する) のニートなどは意味内容が想像しにくいものとして挙げられる。また、LASER (Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation : レーザー光を発生させる装置) のレーザーも頭字語である。

一方、頭字語に類するものとしてイニシャルイズム (Initialism) と呼ばれるものがある。例えば、PCR 検査の PCR (Polymerase Chain Reaction, ポリメラーゼ連鎖反応) のピー・シー・アール、WHO (World Health Organization, 世界保健機関) のダブリュー・エイチ・オー、IOC (International Olympic Committee, 国際オリンピック委員会) のアイ・オー・シー、FBI (Federal Bureau of Investigation, 連邦捜査局) のエフ・ビー・アイなどが挙げられる。このように、頭文字を一字ずつアルファベットの名のままで読むものの、頭字語と同様に連なったアルファベットである。したがって、本書ではイニシャルイズムも含めて頭字語とする。

このように、頭字語は理系分野だけでなく情報科学の分野においても、目にしたり耳にしたりしておりよく使われている。とりわけ、ニュース報道やニュース解説記事においては、技術革新や新たな社会現象により日々語彙が増え続けている。語彙が膨張する一因として様々な造語の登場が挙げられる。造語から派生する横文字 (英単語、カタカナ語) が専門用語 (Technical term, テクニカルターム) として使用されるようになる。しかし、教育者は、学生にその意味が十分伝わっているか不安である。その際、個々の英語も大切であるが、頭字語と呼ばれる類のものが大事な一種の単語ではないかということである。特に、今日のデジタル社会において、よりよく生きるためには情報科学の知識が不可欠であると考えられる。

この論文では情報科学における頭字語についてまとめたが、本論文の目的は全ての頭字語を網羅することではない。頭字語から情報科学を中心とした英単語に入っていくと、専門用語に馴染みやすいこと、記憶の助けとなることを多様な例を通して学生たちに十分知ってもらうことが目的である。

材 料 ・ 方 法

種々の資料を参考にして論文をまとめた。A から Z で始まる英単語の頭字語では、各々幾つかの頭字語を選んだ。できるだけ情報科学に直接関係した英単語を選んだが、中には関連するメディアの頭字語も加えた。頭字語とイニシャルリズムは、厳密には区別されるものであるが、この論文には頭字語に類するものとして記載した。

頭字語 収録 A～Z

A

AI (Artificial Intelligence) エーアイ：人工知能。

AIDMA (Attention Interest Desire Memory Action) アイドマ, A (注意), I (関心), D (欲求), M (記憶), A (行動)：消費者の購買決定プロセスを説明するモデル。

AISAS (Attention Interest Search Action Share) アイサス, A(注意), I(関心), S (検索), A (行動), S (共有)：ネットでの購買行動のプロセスモデル。

AM (Amplitude Modulation) エイエム：振幅変調による中波放送の AM 放送, AM ラジオなど。

AP (Associated Press) エーピー：世界最大の米国の通信社。

API (Application Programming Interface) エーピーアイ, アプリケーション・プログラミング・インターフェイス：異なるソフトウェア同士をつなぐ。

App (**A**pplication Software) アプ, アプリケーション ソフトウェア:アプリと略称される。

B

BASIC (**B**eginners **A**ll-purpose **S**ymbolic **I**nstruction **C**ode) ベーシック, 初心者向け汎用シンボリック命令コード:プログラミングの勉強をするのに入りやすい言語である。語源の通り, 極めてポイントを得た頭字語である。

BCC (**B**lind **C**arbon **C**opy) ビーシーシー:ブライント・カーボン・コピー。

BtoB (B2B) (**B**usiness to **B**usiness) ビートゥービー:企業間取引。

BtoC (B2C) (**B**usiness to **C**onsumer) ビートゥーシー:企業が個人に対して商品・サービスを提供する取引。

C

CC (**C**arbon **C**opy) シーシー:カーボン・コピー。

CD (**C**ompact **D**isc) シーディー:コンパクトディスクのことで, デジタル情報を記録するためのメディア。

CD-ROM (**C**ompact **D**isc **R**ead **O**nly **M**emory) シーディーロム:コンピュータやゲーム機などで取り扱うデータが記録されている CD のこと。

CI (**C**omputational **I**ntelligence) シーアイ:計算知能。

CM (**C**ommercial **M**essage) シーエム, コマーシャルメッセージ:広告放送のこと。

CPU (**C**entral **P**rocessing **U**nit) シーピーユー:コンピュータにおける中心的な演算処理装置(プロセッサ)。コンピュータの頭脳に例えられることが多い。

CtoC (C2C) (**C**ustomer to **C**ustomer) シートゥーシー:一般消費者が一般消費者にモノを売るビジネスモデル。

CATV (**C**ommunity **A**ntenna **T**elevision) シーエーティーブイ:ケーブルテレビ。

D

DRAM (**D**ynamic **R**andom **A**ccess **M**emory) デイーラム, ダイナミック・ランダム・アクセス・メモリ: 半導体メモリによる RAM の 1 種で, 情報を保持する記憶素子。

DRM (**D**igital **R**ights **M**anagement) ディーアールエム: デジタル著作権管理。

DVD (**D**igital **V**ersatile **D**isc) ディー・ブイ・ディ, デジタル・バーサタイル・ディスク: デジタルデータの記録媒体である第 2 世代光ディスク。

DX (**D**igital **T**ransformation) ディー・エックス, デジタルトランスフォーメーション: 進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。なお, 略称が DT ではなく DX なのは, 英語圏では一般に「Trans」を「X」と略すことが理由である。

E

EC (**E**lectronic **C**ommerce) イーコマース, e コマース, エレクトロニックコマース: 電子商取引。

e-Gov (**e**lectronic provision of **G**overnment) イーガブ: 電子政府。

EOS (**E**lectronic **O**rding **S**ystem) イーオーエス: 電子発注システム。

ETC (**E**lectronic **T**oll **C**ollection) system イーティーシー・システム: 電子料金収受システム。

F

5G (**5**th **G**eneration) ファイブジー, ゴ・ジー: 第 5 世代移動通信システム。

FIDO (**F**ast **I**dentitY **O**nline) ファイド: 素早いオンライン認証。

FM (**F**requency **M**odulation) エフエム: 周波数変調の FM 放送, FM ラジオなど。

G

GPS (**Global Positioning System, Global Positioning Satellite**) ジーピーエス：
全地球測位システム。

H

HDD (**Hard Disk Drive**) エイチ・ディー・ディー, ハードディスクドライブ：
補助記憶装置の一種。

HTML (**Hyper Text Markup Language**) エイチティーエムエル：ウェブページ
を作成するために開発された言語。

I

IaaS (**Infrastructure as a Service**) イアース, アイアース：インターネットを
利用したサービス。

IBM (**International Business Machines Corporation**) アイビーエム：米国に本社
がある企業。

IC (**Integrated Circuit**) アイシー：集積回路。

ICC (**Integrated Circuit Card**) アイシーカード：国際的にはスマートカード
(smart card) やチップカード (chip card) とも呼ばれる。

ICT (**Information and Communication Technology**) アイシーティー：情報通信
技術。

IDP (**Integrated Data Processing**) アイディーピー：集中データ処理。

INS (**Information Network System**) アイエヌエス, インス：情報網システム。
INS が NTT の ISDN サービスの商品名を指す場合もある。

IoT (**Internet of Things**) アイオーティー：モノがインターネット経由で通信
することを意味する。

IP アドレス (**Internet Protocol address**) アイピーアドレス：IP においてパケッ
トを送受信する機器を判別するための番号。

ISBN (**I**nternational **S**tandard **B**ook **N**umber) アイエスビーエヌ：図書（書籍）および資料の識別用に設けられた国際規格コード（番号システム）の一種。アラビア数字で表され、日本における漢訳名は国際標準図書番号。日本では、ISBN・分類記号・価格コードという3種類の情報で構成された「日本図書コード」が使用されている。

ISO (**I**nternational **O**rganization for **S**tandardization) アイエスオー：国際標準化機構。

IT (**I**nformation **T**echnology) アイティー：情報技術。

J

JPEG (**J**oint **P**hotographic **E**xperts **G**roup) ジェイペグ：デジタル情報の圧縮技術。

L

LAN (**L**ocal **A**rea **N**etwork) ラン：ローカル・エリア・ネットワーク。

LCD (**L**iquid **C**rystal **D**isplay) エルシーディー：液晶ディスプレイ。Liquid Crystal Monitor（液晶モニタ）とも言う。

LSI (**L**arge-**S**cale **I**ntegration) エルエスアイ：大規模集積回路。

M

MaaS (**M**obility **a**s **a** **S**ervice) マース，モビリティ・アズ・ア・サービス：いろいろな種類の交通サービスを，需要に応じて利用できる一つの移動サービスに統合すること。

MP3 (**M**PEG-1 **A**udio **L**ayer-**3**) エムピースリー：音響データを圧縮する技術。ファイルの拡張子は「.mp3」。

M2M (**M**achine-**t**o-**M**achine) マシンツーマシン：マシンツーマネジメント (Machine-to-Management) と呼ばれる。

N

NBC (**National Broadcasting Company**) エヌビーシー：米国のテレビネットワーク。

O

OASIS (**Organization for the Advancement of Structured Information Standards**)

オアシス：ビジネス分野における XML (**Extensive Markup Language**, 拡張可能なマーク付け言語) 関連技術の国際的な標準化団体。OASYS (オアシス) は、富士通のワープロソフトの名称。

O2O (**On2Off**) (Online to Offline) オーツーオー：インターネットなどのオンラインから店舗などのオフラインへ消費者を呼び込む施策。

OS (**Operating System**) オーエス, オペレーティングシステム：コンピュータのオペレーション (操作・運用・運転) を司るシステムソフトウェア。

1seg (**One seg**) (**1 segment broadcasting**) ワンセグ：1セグメント放送。

P

PaaS (**Platform as a Service**) パース：プラットフォームをサービスとして提供するビジネス。

PC (**Personal Computer**) पीシー：パーソナルコンピュータ。

PCM (**Pulse Code Modulation**) पीシーएम：パルス符号変調。

PDF (**Portal Document Format**) पीディーエフ：ポータブル・ドキュメント・フォーマット。

PIN (**Personal Identification Number**) ピン：個人識別番号 (マイナンバー)。

POS (**Point Of Sales**) ポス：販売時点情報管理。

PR (**Public Relations**) पीアール：広報宣伝 (活動)。

Q

QR (**Quick Response**) code キューアール・コード：高速読み取りを目的としたマトリックス型二次元コード。

R

RAM (**Random Access Memory**) ラム, ランダムアクセスメモリ：コンピュータで使用するメモリ。

RFID (**Radio Frequency Identifier**) アールエフアイディー：無線周波数識別。電波の送受信により, 非接触で IC チップの中のデータを読み書きするもの。

ROM (**Read Only Memory**) ロム：読み出し専用メモリ。

RTF (**Rich Text Format**) アールティーエフ：.rtf ファイル。

S

SaaS (**Software as a Service**) サース または サーズ：必要な機能を必要な分だけサービスとして利用できるようにしたソフトウェア。

SDGs (**Sustainable Development Goals**) エス・ディー・ジーズ：持続可能な開発目標。

SD Memory Card (**Secure Digital Memory Card**) エスディー・メモリーカード：SD カードとも呼ばれる。

SI (**System Integration**) シ, システム・インテグレーション：情報システムのサービスのこと。システムインテグレーター (**Systems Integrator**) は, システムインテグレーション事業を行う企業。

SNS (**Social Networking Service**) エス・エヌ・エス, ソーシャル・ネットワークング・サービス：Facebook, LINE などは SNS を利用した情報発信, しかし Twitter は SNS ではない。

SOHO (**Small Office/Home Office**) ソーホー：パソコンなどの情報通信機器を利用して, 小さなオフィスや自宅などでビジネスを行っている事業者を指す。

SSD (Solid State Drive) エスエスデイ, ソリッドステートドライブ: 補助記憶装置。

T

TRON (The Real-time Operating system Nucleus) トロン: 日本で生まれたコンピュータ用基本ソフトウェア。

U

UD (Universal Design) ユーディー: ユニバーサルデザイン。

UI (User Interface) ユーアイ: ユーザインタフェース。

ULSSAS (UGC Like Search1 Search2 Action Spread) ウルサス, U (ユーザー投稿コンテンツ), L (いいね), S (SNS 検索), S (検索エンジンでの検索), A (購買), S (拡散): SNS 時代における行動購買プロセスのこと。

URL (Uniform Resource Locator) ユーアールエル, ユニフォーム リソース ロケータ: 例えばウェブページの保存場所や電子メールの宛先といったものの。

USB (Universal Serial Bus) ユーエスビー, ユニバーサル・シリアル・バス: コンピュータ等の情報機器に周辺機器を接続するためのシリアルバス規格の1つ。

UX (User Experience) ユーエックス, ユーザーエクスペリエンス: 製品・サービスを使用する際の印象や体験。X は, Ex の発音を表す。

V

VoIP (Voice over Internet Protocol) ボイス・オーバー・インターネット・プロトコル: IP を利用して通話をする技術のこと。

VPN (Virtual Private Network) ブイピーエヌ: 仮想プライベートネットワーク。

VR (Virtual Reality) ヴィアール, バーチャル・リアリティ: 仮想現実。

W

WWW (World Wide Web) ダブリュダブリュダブリュ, ワールド・ワイド・ウェブ: ウェブ, ダブリュー スリー (W3) と呼ばれる。

Wi-Fi (Wireless Fidelity) ワイファイ: ケーブルなしで機器同士をネットワーク接続する無線 LAN の規格。ワイファイ ルーター (Wi-Fi Router) は異なるネットワークを相互に接続するネットワーク機器。

X

XHTML (Excel Table Markup Language) エックスティーエムエル: Web ページを記述するためのマークアップ言語。X は Ex の発音を表す。

Z

ZIP (Zone Improvement Program) ジップ: ZIP ファイルとしてよく使われる。

【追記】 K, Y について, 適切な接頭語を見出せなかった。

終 わ り に

日進月歩のデジタル社会においては, 頭字語はイニシャルまで含めるといたるところで溢れかえっている。それは, 学問や技術の進歩が華々しいことを物語っているようで, 情報科学の領域で矢継ぎ早に誕生するそのような語はその集団において重宝しているに違いない。自分たちのグループにしか通用しないものも誕生していくのかもしれない。

筆者らは, このような“洪水の渦”に巻き込まれたら大変であると危惧している。その防止策としては, それらの内容をよく理解して置く必要がある。

今回、頭字語を中心に学部学生向きのA～Zの諸例を集めた。

また、付録として最近よく目にするカタカナ語の英語や基本的な英単語についても、学生向きのA～Zの諸例を記載した。2020年の新型コロナウイルス感染症（COVID-19, **CO**rona-**VI**rus Disease-2019）の大流行による報道では、**Disease Cluster** クラスタ（感染者集団）；**Lockdown** ロックダウン（都市封鎖）；**Overshoot** オーバーシュート（爆発的的患者急増）；**Pandemic** パンデミック（世界的大流行）などのカタカナ語になった英語を聞く機会も多かった。

このように毎日のように耳にすると興味を持ったり、分からないことは調べたりして自然と身についたのではないか。このように、英語の学習や専門用語も同様に語彙力を高めることになる。学生たちにはこれを機会に興味と関心を高めてもらえればよいと考える。また、今回のようなまとめが少しでも新しい学期の教育で有益となれば幸いである。

教育に長年携わっていらっしゃる先生方はじめ諸賢のご意見、助言を賜り、拙論を修正し、授業の改善を図ることが出来れば幸甚と考え、あえてここに発表した。

付録. カタカナ語の英語編 収録A～Z

A

Algorithm アルゴリズム。

Alternative fact オルタナティブ・ファクト、もう一つの実事：真実に対するもう一つの実事という意味で用いられる語。世間的には実事と見なされていない（嘘と見なされるべき）事柄をそれもひとつの真実だと述べる、といった趣旨で用いられる。

Analog アナログ。

Android アンドロイド。

Annotation アノテーション：特定のデータに対して情報タグ（メタデータ）

を付加すること。注釈を意味する語。

AR (**A**ugmented **R**eality) エーアール：拡張現実。

ASAP (**A**s **S**oon **A**s **P**ossible) :できるだけ早く。【例文】ASAPでお返事をいただけませんか。

Attached file アタッチメントファイル：添付ファイル。

Authentication system 認証システム。

B

Backup バックアップ：英語で、応援、支援の意味であるが、データの複製を言う。

BBS (**B**ulletin **B**oard **S**ystem) 電子掲示板。

Big data ビッグデータ。

Binary バイナリ：二進（法）の。

Binding バインディング：束縛する、拘束する、結びつける、関連付ける、などの意味。

Bit ビット：Binary と digit の合成語。

Blockchain ブロックチェーン：分散型台帳。

Blog ブログ：ウェブログ（Web に Log する，weblog）をブログと略称。執筆者はブロガー（blogger）。

Bluetooth ブルートゥース，ブルー투스：デジタル機器用の近距離無線通信規格の一つ。

Briefing ブリーフィング：背景説明，状況説明，要約。

Browser ブラウザ：ウェブブラウザ（インターネットブラウザ，web browser）のこと。

Bug バグ：コンピュータプログラムの誤りや欠陥を表す（英語で「虫」の意味）。

Build ビルド：プログラムを作る作業のこと。

C

Carrier キャリア：電話やデータ通信などの電気通信事業をおこなう企業。

Chat チャット：雑談、おしゃべりの意味。

Chatterbot もしくは Chatbot チャットボット：対話型 AI のこと。

CIO (Chief Information Officer) 最高情報責任者：経営戦略と IT 戦略を統合し、付加価値を与える。

C++ シープラスプラス：日本語では「シープラ」又は「シープラプラ」と通称される。

Cloud computing クラウドコンピューティング：略してクラウドと呼ばれ、cloud は雲を意味する。

Code of conduct 行動規範。

Command コマンド：命令（する）、指揮（する）などの意味を持つ英単語。

Compile コンパイル：プログラム言語で記述されたソースコードを機械語に変換すること。

Compiler コンパイラ：ソフトウェアの一種。

Compliance コンプライアンス：法令遵守または倫理法令遵守。

Communication コミュニケーション：コンピュータ・通信革命を表す用語としては、C & C (Computer and Communication) なども使われる。

Computer programming コンピュータープログラミング。

Computational thinking 計算論的思考。

Computer science コンピュータ科学。

Computer virus コンピュータウイルス。

Content コンテンツ：英語で、内容（物）、容量、項目、満足（感）などの意味。デジタルコンテンツ (digital content) やキラーコンテンツ (killer content) などとして使用。

Cookie クッキー：Web ページなどで、ブラウザに情報を保存するための仕組みの一つ。

Cross media クロスメディア。

Crowdfunding クラウドファンディング：群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語。

CS（Customer Satisfaction） 顧客満足。

CSR（Corporate Social Responsibility） 企業の社会的責任。

Cyber attack サイバー攻撃。Cyber は、コンピュータの、インターネットの、を指す接頭辞。

D

Data processing industry 情報処理産業。

DAT file ダットファイル：.dat ファイル。“dat”は data の略号。

DM（Data Mining） データマイニング：統計学、パターン認識、人工知能等のデータ解析の技法を大量のデータに網羅的に適用することで知識を取り出す技術のこと。Knowledge-Discovery in Databases（データベースからの知識発見）の頭文字をとって KDD とも呼ばれる。

DTP（Desktop Publishing） デスクトップパブリッシング：卓上出版を意味し、編集作業をパーソナルコンピュータ上で行い、プリンターで出力を行うこと。

Deep learning ディープラーニング。

Design thinking デザイン思考。

Digital currency デジタル通貨：デジタルマネー（digital money）、電子マネー（electronic money）とも言う。

Digital divide デジタル・ディバイド：情報格差。

Digital forensics デジタルフォレンジック：デジタル鑑識。forensics は「法医学」「科学捜査」「鑑識」の意味。

Digital signage デジタルサイネージ：電子看板。

Digital signature デジタルシグネチャ：デジタル署名（暗号化された署名情報）。

Digital watermarking 電子すかし。

Direct dial telephone connection ダイヤル即時通話。

Disguise デイスガイズ：なりすまし。

Disinformation 偽情報。

Diversity ダイバーシテイ：多様性のこと。

Domain name ドメイン名：インターネット上の住所で，co（企業），go（政府機関），ac（大学），ed（学校）を用いる。

Download ダウンロード。

Drone ドローン。

DS（Data Science）データサイエンス：データを用いて新たな科学のおよび社会に有益な知見を引き出そうとするアプローチのこと。

E

Edge エッジ：刃，縁，鋭さを意味する。Microsoft edge（マイクロソフト エッジ）は，マイクロソフトが開発したウェブブラウザ。

eKYC（electronic Know Your Customer）オンライン本人確認。

Electronics エレクトロニクス。

Electronic brain 電子頭脳，人工頭脳。

Ethernet イーサネット。

F

Facsimile transmission ファクシミリによる通信。

Fact-check ファクトチェック：情報の正確性・妥当性を検証する行為。

Fake news フェイクニュース。

Fifth generation computer 第五世代コンピュータ。

Filename extension 拡張子。

Filtering フィルタリング：filterの現在分詞。未成年にふさわしくない有害な

内容のウェブサイトにアクセスできないようにすること。

FIN/SUM BB (**FIN/SUM Blockchain & Business**) フィンサム・ブロックチェーン&ビジネス。

Folder フォルダ。

Free address フリーアドレス：社員が個々に机を持たないオフィススタイル。

G

Geotag ジオタグ。

Google chrome グーグルクローム。

H

Hacker ハッカー：コンピュータや電気回路一般について常人より深い技術的知識を持ち、その知識を利用して技術的な課題をクリアする人々のこと。また、コンピュータの「内側」を覗く人としても使用され、この内側を覗く行為が破壊行為あるいは不正アクセスを伴う場合は、ハッカーではなくクラッカーと言い換える事が提案されている。

Hardware ハードウェア：ソフトウェアとの対比語であり、単にハードとも呼ばれる。

Hashtag ハッシュタグ。

Header ヘッダ：ファイルやパケットなどの先頭にあるデータのこと。

HMD (**Head Mounted Display**) ヘッドマウントディスプレイ：頭部に装着するディスプレイ装置のこと。

Heuristic ヒューリスティック：発見的。

High technology ハイ・テクノロジー：略して、ハイテクと呼ばれる。

Howling ハウリング：音響機器の調整時に、キーン、ポーンという耳をつく音。英語で遠吠えの意味。

Hyper link ハイパーリンク。

I

Identity アイデンティティ：自分らしさやその個性を意味する外来語。

IdP (Identity Provider) : SAML 認証での認証情報の提供者のこと。他の用語との誤用を防ぐためか、「d」を小文字で表記する。

IE (Internet Explorer) インターネット エクスプローラー：マイクロソフトがかつて開発していたウェブブラウザ。Windows 10 から後継ブラウザは、Microsoft Edge に置き換えられ、IE の開発は終了した。

Inbound インバウンド：外国人が訪れてくる旅行のこと。

Industry 4.0 インダストリー 4.0：製造業におけるオートメーション化およびデータ化・コンピュータ化を目指す技術的コンセプトに付けられた名称で、一般に第四次産業革命のこと。

Infodemic インフォデミック：**Information** (インフォメーション) と **Pandemic** (パンデミック) の造語。ソーシャルメディアなどを通じて、不確かな情報が大量に拡散されてしまう現象を、感染症が広まる様子に似ていることから名づけられた。

Information gap インフォメーションギャップ：情報格差。

Information-oriented society 情報化社会。

Information revolution 情報革命。

Information theory 情報理論。

Information search 情報探索。

Informed source 情報筋, 事情通, 消息筋。

Infrastructure インフラストラクチャー：しばしばインフラ (**infra**) と略称される。

Innovation イノベーション：技術革新。英語で変革の意味。

Innovator イノベーター：革新者。

Instagram インスタグラム。

Install インストール：Setup (セットアップ) と同じ。

Intelligent building インテリジェントビル。

Interactive インタラクティブ：双方向性。**On Line** 授業でのキーワードの一つ。

Interface インターフェース：英語で界面や接触面，中間面などの意味。

Internet インターネット。

J

Jamming ジャミング：妨害電波。

L

Layout レイアウト：配置。配列。

Live television ライブ：生放送（なまほうそう）。

Literacy リテラシー：それぞれの領域で特に必要とされる記述・表現体系を扱う能力。メディア・リテラシー，情報リテラシーなど。原義は「読解記述力」を意味する。

Lithograph リトグラフ：石版印刷。**Litho** は，“石”の意味の接頭語。

Log ログ：もとは航海日誌をログといったことから転用。コンピュータを使い始めることをログイン (**Log in**) またはログオン (**Log on**)，使い終えることをログアウト (**Log out**) またはログオフ (**Log off**)。

M

Machine code マシンコード：機械語。

Machine intelligence 機械知能：AI，アナリティクス，ビッグデータなどの個別進化した技術が関連性を持った状態を対象とした概念。

Mail box メールボックス。

Mail magazine メールマガジン：メルマガと略される和製英語。

Main-frame computer メインフレームコンピュータ。

Media メディア：マスメディア，マスコミ。**medium** の複数形。**medium** は中

間にあるもの、媒介するもの。

Media mix メディアミックス：広告用語で、商品を広告・CMする際に異なる複数のメディアを組み合わせるにより、各メディア間の相乗効果によって認知度を高め購入意欲を高める手法。

Microsoft Teams マイクロソフト・チームズ。

Millennial generation ミレニアル世代：Millennials（ミレニアルズ）と同じ。

MIMA Search (Meta-Information Mining Acceleration Search) 単なる個々の情報だけではなく、情報間の意味的な関連に基づいて探索を行うことができる。

Mining マイニング：採掘（鉱山から鉱石を掘り出すこと）の意味で、膨大なデータの集積（＝鉱山）から有用な知見（＝鉱石）を見出すこと。

MIS (Management Information System) 経営情報システム：組織内で使われるコンピュータベースの情報システムのこと。

ML (Machine Learning) 機械学習。

Modulation モジュレーション：変調。

Module モジュール：英語で、交換可能な構成部分などの意味。

MPEG (Moving Picture Experts Group) 動画のデジタル容量を減らすために、圧縮するもの。

MR (Mixed Reality) 複合現実。

N

Network ネットワーク：net（網）と work（作る）の合成語。通信網を指す。

NN (Neural Network) ニューラルネットワーク：神経網。

O

OELD (Organic Electroluminescent Display) 有機ELディスプレイ。

Offset printing オフセット印刷。

Off the record オフレコ。

OMR (**O**ptical **M**ark **R**eader) 光学式マーク読み取り装置。

On demand オンデマンド。

Online lesson オンライン授業。

Online venue オンライン会場：対義語は、Real venue リアル会場。なお、会場を表す英語には、venue, site, place, hall, meeting, arena, stadium, location などがある。

Optical fiber 光ファイバー。

P

Password パスワード。

Pay-Television 有料テレビ放送。

PDCA (**P**lan **D**o **C**heck **A**ction) 計画 (Plan), 実行 (Do), 評価 (Check), 改善 (Action)：4つの段階を繰り返し行うことで、仕事を改善・効率化できるというもの。

Phonetap 電話盗聴。

Platformer プラットフォーマー：市場プラットフォームを提供する企業。

Pop-up ポップアップ。

Portal site ポータルサイト。

PowerPoint パワーポイント。

Prime time プライムタイム：ゴールデンアワーは和製英語。

Profiling プロファイリング：Profile (横顔, プロフィールの意味) の現在分詞。犯罪者プロファイリング (Offender profiling, criminal profiling) を指す。

Programming language プログラミング言語。

Progressive プログレッシブ：英語で、前進する, 進展する, などの意味。

Prompt プロンプト：Command prompt (コマンドプロンプト) のこと。

Protect プロテクト：コンピュータで、プログラムの内容が違法に複製されないような処理を行うこと。英語で、防ぐ, 守るの意味。

Provider プロバイダ。

Public Comment パブリックコメント：広く公に（パブリック）、意見・改善案（コメント）などを求める手続き。通称パブコメという。

Q

Quantum computer 量子コンピュータ。

R

Remote support 遠隔授業。

S

Script スクリプト。

Search engine 検索エンジン。

Shared folder 共有フォルダ。

SMS (Short Message Service) ショートメッセージサービス。

Singularity シンギュラリティ：技術的特異点 (Technological Singularity) のこと。

Smart city スマートシティ：未来都市。

Smart community スマートコミュニティ：環境配慮型都市(スマートシティ)。

Smart grid スマートグリッド：電力の流れを最適化できる送電網。

Smart phone スマートフォン：スマホのこと。

Smart speaker スマートスピーカー：AIスピーカーとも呼ばれる。

Society 5.0 ソサエティー5.0：超スマート社会。

Soft computing ソフトコンピューティング：複雑・膨大で、あいまいな情報や知識を取り扱う情報技術。

Software ソフトウェア。

Source code ソースコード。

Spam スパム：スパムメール (spam email) のこと。

Startup スタートアップ：ビジネスの場で、立ち上げや起業などの意味。

Subscription サブスクリプション：雑誌の「予約購読」「年間購読」の意味であるが、一定期間の利用権として料金を支払う方式で、コンピュータのソフトウェアの利用形態として採用されることが多い。サブスクとも略される。

T

Technical innovation (Technological breakthrough) テクニカル・イノベーション：技術革新。

Teleprompter テレプロンプター：演説原稿や台本を一行ずつ流して出演者に教える装置。

Telework テレワーク：「tele=離れた所」と「work=働く」の造語。

Third place サード・プレイス：コミュニティにおいて、自宅や職場とは隔離された、心地のよい第3の居場所を指す。

TO トゥー：宛先。「～へ」の意味。

Tool ツール：英語で、道具、手段、方法などの意味。

Trimming トリミング。

Trojan horse トロイの木馬：ギリシア神話におけるトロイア戦争のストーリーにあるトロイの木馬になぞらえて名前がつけられたマルウェア。

Tweet ツイート。

Twitter ツイッター。

U

Ubiquitous ユビキタス：いつでもどこでも存在すること。

Unicode ユニコード：文字コード。

Unicorn ユニコーン企業：Unicorn は、額に一本の角が生えた伝説の生き物。ユニコーン企業はユニコーンのようにまれで、巨額の利益をもたらす可能性

のある企業。

Unsolicited Email 迷惑メール：ジャンクメール（Junk Email）とも言う。

Upload アップロード。

Usability ユーザビリティ：使用性の意味。

UI（User Interface） ユーザインタフェース。

V

Virtual currency 仮想通貨：暗号資産とも言われる。

W

Walkie-talkie ウォークータークーキー：移動運用に適した携帯型の双方向無線機
携帯用無線電話器。

Wearable computer ウェアラブルコンピュータ：wearableには「着られる」の
意味がある。

Web ウェブ：“web”とは「蜘蛛の巣」を意味する英単語。

Web conference ウェブ（Web）会議。

Web site ウェブサイト：サイトと呼ばれる。

Wiki ウィキ：ウェブサイトの一つ。ウィキウィキはハワイ語で「速い」を意
味する形容詞の wikiwiki のこと。

Wireless power transmission ワイヤレス電力伝送。

Wizard ウィザード：英語で魔術師の意味。

Workation ワークーション：Work（労働）と Vacation（休暇）を組み合わせた造語。

X

Xen ゼン：仮想化ソフトウェア。

Y

YouTube ユーチューブ：You は「あなた」、Tube は「ブラウン管（テレビ）」という意味。

YouTuber ユーチューバー：職業として認知されている。

Z

Zine ジン：個人の趣味で作る雑誌のこと。**Magazine** もしくは **Fanzine**（ファン雑誌）を短くした言葉。

Zoom ズーム：オンラインビデオ会議システム。zoo- は、“動き”のあることを示す接頭語。

【追記】 K について、適切なカタカナ語の英語を見出せなかった。

参考文献・資料

- 1) 「教養としてのコンピューターサイエンス講義」ブライアン・カーニハン 著，酒匂 寛 解説：坂村 健 訳 日経 BP (2020).
- 2) メディア用語基本辞典第2版，渡辺武達，金山 勉，野原 仁 編 世界思想社 (2019). 「2060 デジタル資本主義」岩田一政ほか 編 日本経済新聞出版社 (2019).
- 3) 小学館デジタル大辞泉，小学館
- 4) 「マンガでわかる暮らしのデジタル化ガイド」一般社団法人全国銀行協会 発行 (2019).
- 5) 「インターネット社会を生きるための情報倫理」改訂版 情報教育学研究会 (IEC) 情報倫理教育研究グループ 編 実教出版株式会社 (2018).
- 6) 「IoT まるわかり」三菱総合研究所 編 日本経済新聞出版社 (2015).
- 7) 「つながりっぱなしの日常を生きる－ソーシャルメディアが若者にもたらしたもの」ダナ・ボイド 著 野中モモ 訳 草思社 (2014).
- 8) ロングマン現代英英辞典 第6版 桐原書店 (2014).
- 9) オックスフォード現代英英辞典 第10版 オックスフォード大学出版局 編 (2020).
- 10) 新英和辞典第6版，竹林 滋，吉川道夫，小川繁司 編 研究社 (2001).